

# 筑波山麓の酒造の歴史と現在

班員：小川諒 多賀大起 柴田晴生 中津蒼太 中川智也 小越優太郎 岡本みもり 古  
曳正哉

担当教員：松原康介 担当 TA：根岸美空

## ○背景

5班のテーマは「つくばの都市計画史」である。つくばの歴史というと研究学園都市から始まり、歴史なんてほぼないじゃないかと思われるが、視線を研究学園の外へ移してみるとかつてから栄えていた旧集落があり、歴史がある。まずは実際に訪れてそれらの地域について知ることにした。当日は大曾根の町並み、小田城跡、りんりんロード、平沢官衙遺跡、つくばワイナリー、北条の町並み、稲葉酒造、筑波山神社などを見学した。これにより、筑波山麓には魅力的な集落が残っていること、私たち自身それらの魅力を初めて知ったように認知度が低いこと、意外にもお酒造りが盛んであることに気が付いた。そこで私たちはお酒と地域の関係の歴史に興味を持ち調べることにした。さらに、それらの知見をまちおこしに活用できないかと考えた。



## 図1：フィールドワークで訪れた地点

### ○なぜお酒なのか？

実際に行ってみて興味を持ったというのが正直な理由だが、それ以外にも、特産品は地域の気候・風土・歴史に深く関係し、その関係のストーリーは製品のブランド力を向上させる。また、その特産品の販売は地域の知名度を向上させることにつながると考えられる。日本酒の原材料である米と水の生産は集落形成の歴史に深く関わっていると想定され、さらに観光資源にもなり得る。

### ○研究目的

筑波山麓周辺地域と特産品（特に日本酒やワインなど）の歴史的関連性・背景を明らかにすることを目的とする。

さらに、つくばにおける酒造の歴史や現状、施策を踏まえ、どのようにして筑波山麓周辺地域やその特産品の魅力を伝えていくべきかを考察する。

### ○調査方法

私たちの研究テーマである「筑波山麓周辺とつくばのお酒の歴史的背景」について理解するために、筑波大学中央図書館に所蔵されている資料やインターネット上の文献を調査して、正確なデータを収集し研究の基礎とした。また、前述したフィールドワークを行った。現時点では実施できてい

ないが、地元住民や酒造業者の方々へのインタビュー・学生へのアンケート等の実施や定量的データによるアプローチも検討している。

○研究対象地域

調査を具体的かつ円滑に進めるため、今回の研究対象地域は北条、平沢、沼田、筑波を中心とする筑波山麓地域と定めた。同地域は奈良・平安時代より筑波郡の中心地として知られ、歴史的に地域行政や文化の中核を担ってきた。江戸時代以降は筑波山参拝の門前町・宿場町として栄えた地域であり、現在は日本酒・ワイン・ビールを含む複数の酒造業者がある。

○つくばの日本酒

まず日本酒について述べる。

● 筑波の酒造史

つくば市に現存する日本酒の製造業者は慶応3(1867)年創業の「稲葉酒造」(沼田)と明治10(1877)年創業の「浦里酒造」(吉沼)の2か所である。一方、両者の創業以前にも酒造の記録が存在する。「筑波町史」によると、江戸時代の筑波地域では農家の余剰米の活用先として自家酒造が行われており、延宝8(1680)年には太田の年貢米が北条・平沢に酒造用として払い下げられたとの記録があるほか、享保期(1720~30年代)には9軒、天保5(1834)年には8人の酒造人が確認されている。また慶応4(1868)年に新政府が行った調査(図2)では、北条の野沢惣兵衛と泉の清右衛門という2つの大規模な清酒造と10石の小規模な濁酒造11人が筑波山麓地域で確認されている。

名前	村	種別	醸造高(石)
惣兵衛	北条	清酒	350
清右衛門	泉	清酒	300
久左衛門	北条	濁酒	10
盛治郎	北条	濁酒	10
金兵衛	北条	濁酒	10
徳右衛門	北条	濁酒	10
源右衛門	北条	濁酒	10
?	北条	濁酒	10
平左衛門	小田	濁酒	10
太郎左衛門	小田	濁酒	10
文左衛門	大形	濁酒	10
定吉	泉	濁酒	10
藤平	君島	濁酒	10

図2 土浦藩内・筑波山麓の酒造人(慶応4)

● 日本酒の現状  
・生産

国税庁課税部酒税課が酒類製造業及び酒類卸売業の概況を尋ねたアンケートによると、令和5年の茨城県の清酒製造業者数は41であり、関東においては最多である。酒造業者の所在地は、県全域に広がっており、筑波山周辺にも複数分布している。故に、筑波山周辺において日本酒作りが盛んであるといえる。一方、売上数量と売上金額は、比較的少なく、関東でも下から2、3番目と、下から数えた方が早い。また、額の大きさも埼玉県などに大きく離されていることが分かる。ただ、売上数量あたりの金額は関東の他県と比較して高く、神奈川県に次ぐ高さとなっている。故に、小規模の酒造業者が多く、高付加価値の物を少量生産していると考えられる。



図3 茨城県内の酒造業者分布図

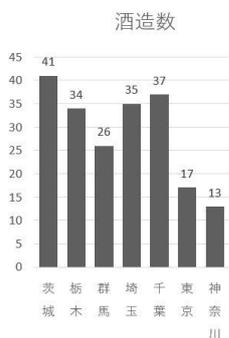


図4 関東の酒造業者数

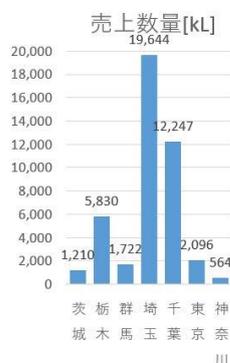


図5 売上数量[kL]

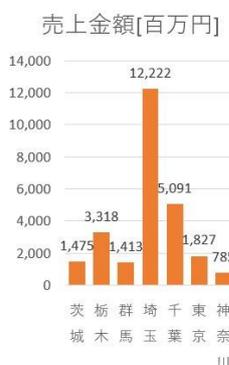


図6 売上金額[百万円]

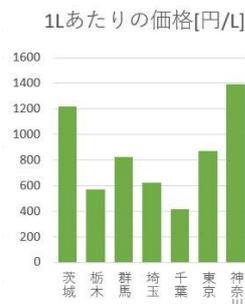


図7 1Lあたりの価格[円/L]

・原料

日本酒は水・米・米麴の3つを原料として生産されている。つくばの日本酒が特産品とされている理由は、質の高い水と米を使用している点にある。水には主に筑波山からの湧水が使用されている。筑波山は上部が斑れい岩、下部は花こう岩という特殊な構造をしており、山頂に雨として降った水が、長い時間をかけてカルシウムや重炭酸イオンなどを豊富に取り込むようになっている。筑波山の湧水の水質は、日本酒造りに最適な素晴らしい水なのである。つくばは米の生産にも長い歴史をもっている。伝説と呼ばれる多気太郎が十二世紀に水路を築いてから、灌漑によって米が生産されてきた。上大島から小田の水田地帯では、太閤検地後と現在で水田の増加がごくわずかだということから、この地域の米作りが長い歴史を持っていることが分かる。

○ つくばのワインとビール

つくば市には小規模なワイン・ビール製造業者が複数ある。このうち研究対象である筑波山麓地域に所在するのは、ワイン製造業者のつくばワイナリーとビーズニーズヴィンヤーズ、ビール製造業者のつくばブルワリーである。具体的な歴史と現状については今後調査する予定である。

○つくば市の取り組み

つくば市では、2020年1月1日に施行された「つくば市地酒などによる乾杯の推進に関する条例」を推進する目的のもと、市内の酒類生産事業者8社が一体となって「つくばのおさけ推進協議会」を2024年

5月24日に発足した。この協議会では、つくば駅周辺などで「つくばのお酒で乾杯！」というイベントを主催している。

また、つくば市は構造改革特区として2017年12月に内閣府から「つくばワイン・フルーツ酒特区」の認定を受けた。これにより、酒類の最低製造数量基準が6klから2klに変わり、小規模な生産が可能になったことから生産がしやすくなった。2019年には市内のワイナリー第1号としてつくばワイナリーがオープン。

- つくば市のイベント
  - 「つくばのお酒で乾杯！」
  - 「樽酒振る舞い企画」
  - 「筑波山麓酒遊バス」

#### ○今後の展望

最終発表に向けて大きく分けて3つのことに取り組む。1つは現在調査が進んでいる日本酒と同様に筑波山麓周辺のワインやビールの酒造の歴史についても文献や資料、データを利用して調査を実施する。また、日本酒に関してもさらなる文献調査を行うことでより正確な情報を収集する。2つ目は筑波山麓周辺地域の酒造の現状を当事者の方々の視点から正確に把握するために、各種酒造業者やつくばのおさけ推進協議会の方々へのインタビュー及び現地のフィールドワークを再度実施する。さらに、つくばのお酒に対する認知度を測るために筑波大生を対象にアンケートを実施する。3つ目はこれまでに調査してきた筑波山麓周辺地域と酒造の歴史・現状からその魅力をどのようにまちおこしに活用していくべきかを考察する。

#### ○参考文献

##### 書籍

- ・ 筑波町史編纂専門委員会. 筑波町史上巻. 1989. P668-669, 695-697
- ・ 筑波町史編纂専門委員会. 筑波町史史料集第七篇. 1989. P122-172
- ・ 筑波町史編纂専門委員会. 筑波町史史料集第九篇. 1989. P31-87
- ・ 国土地理院. 筑波の古絵図. 2006.
- ・ 合田寅彦. 筑波山麓ムラ暮らし. 1991.
- ・ 岩上長作. 筑波山. 1904.
- ・ 筑波研究学園都市の生活を記録する会. 長ぐつと星空. 1981.

##### ウェブサイト

- 国税庁課税部酒税課「酒類製造業及び酒類卸売業の概況（令和5年アンケート）」[https://www.nta.go.jp/taxes/sake/shiori-gaiyo/seino\\_oshouri/05/pdf/all.pdf](https://www.nta.go.jp/taxes/sake/shiori-gaiyo/seino_oshouri/05/pdf/all.pdf)
- 地理院地図 / GSI Maps | 国土地理院 /2025/11/15 閲覧 <https://maps.gsi.go.jp>
- 茨城県広報紙「ひばり」1月号【特集3】いばらきの地酒. 2023.1.1 更新 <https://www.pref.ibaraki.jp/bugai/koho/kenmin/hibari/hibari-site/hibari202301/1tokusyu03.html>
- つくば市ワイン・フルーツ酒振興基本方針 <https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikikarasagasu/keizaibunogyosei/akuka/gyomuannai/4/1/11811.html>
- つくばのおさけ推進協議会 [tca-jp-e381a4e3818fe381b0e381ace3818ae38195e38191e68ea8e980b2e58d94e8adb0e4bc9a](https://tca-jp-e381a4e3818fe381b0e381ace3818ae38195e38191e68ea8e980b2e58d94e8adb0e4bc9a)